

すいた市民しんぶん

2014.6 JUNE

vol.32



緑地公園駅

画・高宮良子

すいた **今昔** 北大阪急行「緑地公園駅」から吹田市春日町はすぐそば。竹やぶがどんどん消えていくのが少し寂しいな。

CONTENTS

太陽光パネル工事疑惑 住民訴訟で真相究明すすむ
吹田市長は少なくとも **800万円を返還せよ** 2

48000筆の署名提出! **保育所民営化、暗礁に乗りあげる** 4

「集団的自衛権」というマジックショー **憲法九条を残したままで「戦争する国」ニッポンに** 6

混迷のウクライナを訪ねて **米・露・EUの背後で蠢く影が...** 8

内戦のシリアに行く② **精神を病む子、母乳が出ない母** 14

吹田溺愛主義⑦ **「突き破れ!」と 岡本太郎は叫んだ** 新山ひろし10 **いわみせいじのヨコシマ日記⑩** 15

この新聞は定期的に発行し、吹田市民のみなさまにお届けしています。

北 大阪急行「緑地公園駅」が開業したのは1975年(昭和40)3月30日。当時は、あたり一面の竹やぶだった。時代は高度成長を迎え、千里ニュータウンの開発に比例して沿線人口も急増した。

駅から北へしばらく歩くと、吹田市春日町になる。春日町の前身は「下新田村」であった。江戸時代、田んぼの需要が高まって新田開発が奨励され、山田村の農民が開墾したのが「下新田村」だ。春日町はモモの名産地で、大阪府の品評会で優勝するほどだった。ちなみに緑地公園駅の次の駅、「桃山台」の地名は春日町名産のモモから来ているのだ。